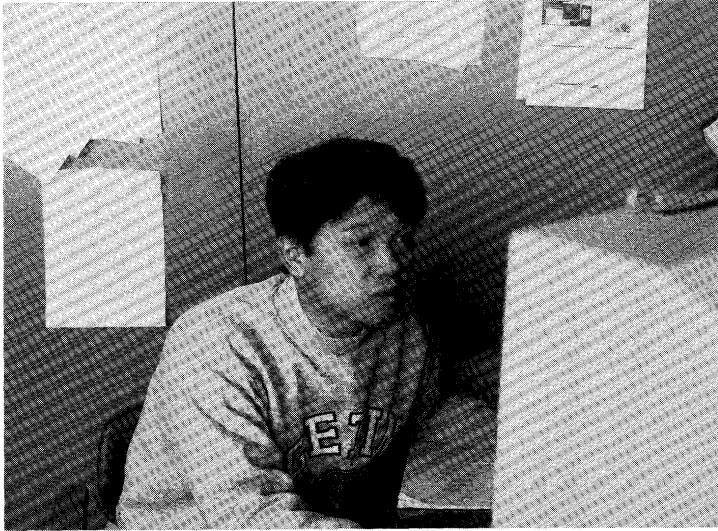


・ ・ 大学院生の夢・ロマン ・ ・

高温下、溶けない、熱くならない鉄



大学院生の西岡浩樹さん 九州大学大学院工学研究科鉄鋼冶金学専攻博士課程1年 大分出身 大学入学のため福岡へ 大学では「コークスの熱の伝わり方」を研究 半年ほど前に結婚 奥さんの稼ぎがないと食えない状況

◆ 初めて「鉄」を意識したのは、腕時計です。高校生の時買ってもらったんです。肌触りがよく、重量感があって、腕にはめているととても心地良くて。ずっと眺めていても飽きないくらいきれいで、吸い込まれそうな感じでした。十分に磨かれていたからかな。思うに「鉄」を好きだと感じる今の気持ちは、この腕時計のせいでしょう。

・ ・ ボクたちの夢・ロマン ・ ・

空に浮かぶ鉄がカッコイイ！

年末も押し迫った12月15日、千代田区北の丸公園の科学技術館4階の“アイアンワールド”を訪ねました。そこでは、子供達がワイワイガヤガヤ、鉄の世界を駆け回っていた。

ヘー、なぜ？ なに？ これ。好奇心いっぱいの輝く瞳と素直な反応。横浜から来た東本郷小学校の子供達。左から、高橋一郎君、川又正幸君、竹内庸祐君、平林康弘君、向山暁子さん、鈴木千恵子さん、鷲田明希子さん

「パチンコ玉や釘は、鉄でできているのかな」

「鉄棒もそうだよね」「おなべだって鉄よね」

「鉄筋のビルは？」「あたりまえだよ」

鉄のことを習うのは、小学校4年生ぐらいから。「鉄」に囲まれて勉強したり、遊んだりしている生活の中で、「鉄」のイメージが出来上がりつつある小学6年生のみんなと「鉄」の話をした。

「鉄って堅いし、重い感じがするよね」将来は警察官になりたいという男子。

いつの日か運転するかもしれないパトカーだって、鉄でできてるんだよ。

みんな、鉄にどんな夢やロマンを感じているのだろう。鉄を造る人達の夢やロマンも一杯あるけれど、鉄を使う人達は毎日どんな気持ちで鉄に接しているのだろう。子供たちやお母さん、マスコミに芸術家さん。「鉄、好きですか」「どんな夢やロマンを感じていますか」街角の声を聞いてみました。

◆ やはりこれからは、さびない「鉄」が研究の課題でしょう。ステンレスでもさびますからね。インドにウーツ鉄というさびない鉄があるそうですね。こういう「鉄」を車に利用したら、海へ遊びに行っても潮風にあたって、安心ですよ。

◆ 車といえば、ぶつかってもすぐ元に戻ったり、傷つかない材料できているといいですね。車は足代わりですから、将来こういう丈夫で柔軟な「鉄」が開発されれば、本当に助かります。

◆ 今は、毎日実験で「純鉄」を使用しています。高い温度でも溶けない、熱くならない「鉄」を作ろうとしているのですが、博士課程修了までにはとてもできないでしょう。完成の暁には、航空機体などにも利用できますよ。研究の未完成の部分は、後輩が研究を引き継いでくれると思います。私も先輩からこの研究を引き継ぎましたから。

◆ 将来は、ものを造る仕事をしたいと思っています。研究だけでなく、現場の仕事も大いにやってみたい。造ったものが、人に喜んでもらえれば、そして「鉄」に関係のある仕事であれば、なお嬉しいですね。

